

平成25年度事務事業
議会評価意見書

小松島市議会

議会評価意見書①

事業名	2-2-4 津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業 (津波避難タワー設置事業)	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>津波避難施設の整備は緊急性が高い事業である。地元住民の要望により盛土工法に変更したが、収容人数に不安が残るので、可能な限り広い収容面積にすべきである。</p> <p>「津波避難対策特別強化地域」に指定されたことにより、有利な国庫補助を活用するため、国・県と協議を進めるべきである。整備は緊急を要するので、早期の完成に向け取り組んでいく必要がある。</p> <p>さらに、他の津波避難困難地域においても、整備計画を早期に立案・実施すべきである。</p>		

議会評価意見書②

事業名	2-2-8 津波等災害に強い安全なまちづくり推進事業 (補正予算関連)	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>今回の8月の水害にもあったように、避難勧告に対しての危機感がまだまだ薄いと感じた。そのため、市民への啓発、避難訓練などを関係団体とさらに取り組む必要がある。</p> <p>防災・減災対策関連事業の充実は必要であり、国・県と連携し、市民を守るための避難施設・設備等の早急な整備が必要である。</p>		

議会評価意見書③

事業名	3-1-5 位置情報通知システム整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>この事業により、通報者の発信位置を迅速に把握することが可能となった。その結果、緊急出動の初動が早くなり、現場への到着時間が短縮された。このことによって、市民の安全・安心へのさらなる寄与が期待できる。</p> <p>しかし、今後津波や地震の災害からシステムや施設を守るためには、設置場所を検討すべきである。</p>		

議会評価意見書④

事業名	4-2-3 市道整備事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>市道整備は市民生活において不可欠である。交通安全の確保と市民の安全・安心のため重要である。</p> <p>国・県からの補助金・交付金を活用し、今後、急速に老朽化していくインフラに対し、事業の拡充を図るべきである。</p>		

議会評価意見書⑤

事業名	4-2-5 社会資本整備総合交付金事業 (総合整備計画・防災安全整備計画)	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災対策として避難施設の建設、避難路の整備、孤立しないための橋梁の改修などが急がれる。今後、急速に老朽化していくインフラに対して、早急な整備をさらに推進し、国からの補助金・交付金を有効活用しながら費用対効果を考え、優先順位の高いものから実施すべきである。</p>		

議会評価意見書⑥

事業名	4-2-15 金磯地区まちづくり事業	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>金磯まちづくり事業は、「金磯まちづくり計画」に沿って30年以上にわたって、道路や水路などの整備を進めてきた。</p> <p>しかし、地区内の道路や水路の整備は不十分である。まちづくり計画を抜本的に見直し、よりよい住環境整備に向けた取り組みにするべきである。</p>		

議会評価意見書⑦

事業名	5-1-18 ごみ袋関係経費	
議会評価	5	終期設定し終了
<p>【評価説明】</p> <p>この制度は、ごみの減量化やリサイクル推進をうたっているが、その目的を達成できているとは言えない。</p> <p>社会保障費や税負担の増額で家計を圧迫しており、これ以上余分な費用を求めるべきでないと考え、終期を設定し指定ごみ袋を廃止すべきである。</p> <p>一方、ごみの減量化・リサイクルの推進のため、今後も継続すべき事業であり、ごみ袋を値下げして、さらなる市民の分別意識啓発に取り組んでいくべきとの意見もあった。</p>		

議会評価意見書⑧

事業名	5-1-19 葬斎場周辺環境整備事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>葬斎場は老朽化が進んでおり、市民から早期の整備を求める要望は多かった。この事業の維持と、新葬斎場建設において地元住民の理解と協力は不可欠であり、周辺の環境整備は必要である。</p>		

議会評価意見書⑨

事業名	5-1-20 再生可能エネルギー等導入推進基金事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>今回のミリカホールへの太陽光発電システムの設置により、事業は終了しているが、原子力や化石燃料による発電の縮小を図るため、また、避難施設に設置すれば、災害に強い自立・分散型エネルギーシステムとなるので、他の公共施設への設置を国・県の補助金を活用し、整備を推進すべきである。</p>		

議会評価意見書⑩

事業名	5-3-1 側溝清掃事業	
議会評価	1	拡充する
<p>【評価説明】</p> <p>近年大雨による浸水被害が多く発生しており、側溝清掃事業は市民の要望が多い。昨年も事務事業評価に抽出されたが、衛生センターでの作業は十分機能を果たしていないので廃止し改善するとした。今年度から、都市整備課にて、業務の改善を行っている。町内会の側溝清掃は住民の高齢化により困難になっている。今後は、排水路の管理計画を立て、側溝清掃を行う必要がある。</p>		

議会評価意見書⑪

事業名	6-3-6 子ども・子育て支援事業計画策定等事業	
議会評価	2	現状のまま継続する
<p>【評価説明】</p> <p>この事業は、子ども・子育て関連3法に基づき、平成27年度から5年間を計画期間とする「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務づけられた事業である。本市においても、急速に少子化が進んでおり、支援事業の策定は重要である。</p> <p>人口減少の対策としても必要な事業であり、国の動向を注視しながら、「小松島市子ども・子育て会議」において、十分検討し、本市の実態に合わせた支援計画を策定すべきである。</p>		

議会評価意見書⑫

事業名	7-2-36 市総合グラウンド管理費	
議会評価	3	改善・効率化し継続
<p>【評価説明】</p> <p>高額な借地料及び施設の維持管理は、本市の大きな財政負担となっており、平成24年度議会評価において、『終期を設定し終了』と報告した事業である。</p> <p>平成25年度より、防災施設の整備に向けて、用地買収等に取り組んでいるが、施設の整備は、高額な事業費を要するため、国・県の有利な財政補助を活用し、推進していく必要がある。今後の諸課題（野球場・テニスコートの貸出、管理費、防災機能、利活用等）については、検討委員会において十分検討を加え、事業計画を策定し、早期整備に向けて取り組むべきである。</p>		